

卒業生の現状調査（就職先調査）

第十三期生調査

—2024 年度卒業生—

2026 年 3 月 18 日

埼玉東萌短期大学

実習・キャリアセンター

I 調査の概要

1. 調査の趣旨

卒業後 1 年以内の卒業生の勤務状況において、在学中の本学の教育が卒業生の職場での専門的な職務活動の効力を発揮しているか、問題点は何か等を把握するため 2024 年度卒業生（第十三期生）の就職先を対象に調査を行う。

2. 調査の目的

本学を卒業し、就職した者のその後の動向を把握し、在学中の本学の教育活動や学生支援活動が卒業後の職業生活を中心とする社会生活にどのように役立っているかを検討し、本学の教育活動や学生支援活動の一層の改善・充実を図るとともに、本学で学んだことが卒業後の生活において効果的に活かされるよう、本学卒業生への支援活動のあり方についても検討を行っていく。

3. 調査対象、調査方法、調査時期及び回収率

① 調査対象

本学の 2024 年度卒業生（第十三期生）61 名のうち、現在も就職先で勤務している 54 名（52 ヶ所）を対象に実施した（進学者、未就職者、退職者は除く）。卒業生が複数就職している園には、人数分の調査用紙を郵送した。

② 調査方法

郵送による質問紙法で行った。

③ 調査時期

2025 年 11 月 20 日～12 月 25 日で実施した。

④ 回収率

2024 年度卒業生（第十三期生）61 名のうち、54 名（52 ヶ所）を対象に質問紙を送付したところ、39 名についての回答が得られた。回収率は 72.2%であった。

なお、勤務継続に関する設問については 1 名の回答が欠損していたため、当該項目の分析は有効回答 38 名を対象として行った。

4. 調査の基礎データ

『卒業生の現状調査（就職先調査）』（本資料）に使用したデータは、2012 年度卒業生（第一期生）から 2024 年度卒業生（第十三期生）の就職先を基礎データとした。

Ⅱ 就職先からの回答

1. 卒業時の内定先への勤務継続についての状況

2015 年度第四期生から 2024 年度第十三期生までの就職先から得られた勤務継続状況は以下の通りである。

	現在も勤務	すでに退職	回答計
2015 年度第四期生	47 名 (87.0%)	7 名 (13.0%)	54 名
2016 年度第五期生	43 名 (89.6%)	5 名 (10.4%)	48 名
2017 年度第六期生	43 名 (84.3%)	8 名 (15.7%)	51 名
2018 年度第七期生	42 名 (85.7%)	7 名 (14.3%)	49 名
2019 年度第八期生	35 名 (87.5%)	5 名 (12.5%)	40 名
2020 年度第九期生	38 名 (92.7%)	3 名 (7.3%)	41 名
2021 年度第十期生	45 名 (97.8%)	1 名 (2.2%)	46 名
2022 年度第十一期生	39 名 (100%)	0 名 (0%)	39 名
2023 年度第十二期生	55 名 (96.5%)	2 名 (3.5%)	57 名
2024 年度第十三期生	37 名 (97.3%)	1 名 (2.7%)	38 名

2024 年度第十三期生は、有効回答 38 名のうち「現在も勤務している」が 37 名 (97.3%)、「すでに退職している」が 1 名 (2.7%) であった。2015 年度第四期生以降の推移を見ると、いずれの年度においても勤務継続者の割合は高い水準で推移しており、特に近年は 90%以上となっている。第十三期生についても同様に高い継続率が確認された。

2. 勤務先からの評価

① 現在も勤務している卒業生に対する勤務先からの評価の割合

「現在も勤務している」と回答のあった卒業生に対する、2015 年度第四期生から 2024 年度第十三期生までの評価について、「とてもよい」、「ふつう」、「改善を要する」の 3 段階で回答を求めた。結果は以下の通りである。

	とてもよい	ふつう	改善を要する	未回答	回答計
2015 年度第四期生	27 (50.0%)	16 (29.6%)	10 (18.5%)	1 (1.9%)	54
2016 年度第五期生	29 (60.4%)	13 (27.1%)	4 (8.3%)	2 (4.2%)	48
2017 年度第六期生	25 (49.0%)	14 (27.5%)	7 (13.7%)	5 (9.8%)	51
2018 年度第七期生	34 (68.0%)	11 (22.0%)	4 (8.0%)	1 (2.0%)	50
2019 年度第八期生	23 (57.5%)	11 (27.5%)	0 (0%)	6 (15.0%)	40
2020 年度第九期生	32 (78.1%)	6 (14.6%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)	41
2021 年度第十期生	25 (54.3%)	14 (30.4%)	5 (10.9%)	2 (4.4%)	46
2022 年度第十一期生	22 (56.4%)	14 (35.8%)	3 (7.6%)	1 (2.5%)	39
2023 年度第十二期生	32 (58.2%)	18 (32.7%)	4 (7.3%)	1 (1.8%)	55
2024 年度第十三期生	26 (68.4%)	10 (26.3%)	2 (5.3%)	0 (0%)	38

2024 年度第十三期生の「とてもよい」との回答は 26 名 (68.4%) であり、半数を上回る結果となった。「ふつう」との回答は 10 名 (26.3%) であり、「とてもよい」と「ふつう」を合わせると 94.7%となった。「改善を要する」との回答は 2 名 (5.3%) であった。これらの結果から、就職先から見た卒業生の勤務状況については、概ね良好な評価が得られていることがうかがえる。

② 現在も勤務している卒業生の勤務状態の評価とその理由について、自由記述での回答を求めた。

・評価が「とてもよい」

常に努力を怠らず、指導を真摯に受入れ前向きに勤務をしている。担任として、保育に悩むこともあるが、先輩保育士に相談し、諦めずに子どもとも向き合っている。
何事にも前向きで一生懸命に取り組んでいます。一年目ということもあり、とても謙虚な気持ちを持って職員と保護者に接しています。笑顔がとてもよく、子どもたちからも慕われています。 時間どうりにきちんと来ています。休み場合もしっかり連絡をしてくれます。
新規オープン、新しく出会った先輩保育士との関係性も良好です。右も左もわからない中でも一つ一つ疑問を持ち、周囲と力を合わせ、子供たちのために尽力してくれております。
誠実に子供と向き合い頑張っています。勤務状態も良好で、これからの成長に期待しています。
利用者様への接し方も丁寧で寄り添う姿を感じています。任された業務についても分からない部分は先輩職員上司に指示を仰ぎ、遂行する姿勢が見て取れます。
誰に対しても笑顔で接している。 苦手なことにも一生懸命取り組んでいる。 気持ちのいい挨拶を行っている。
前向きによく動いてくれています。今年の1年間でいろいろと学ぶ、実践させてもらった事で自信になっているようです。
笑顔、接遇がよく、幅広い年齢の子どもに対応できている。
4月から四歳児担任を先輩保育士と2人でしていただいています。円全体の仕事、クラス担任としての仕事に対し、真面目に取り組む姿があります。他の職員とのコミュニケーションを積極的に取る姿にも好感が持てます。
素直であり、子どもに対しても保護者、または職員間に於いても、自ら率先して取り組んでおります。一年目という事で覚えること、任されることなど多くありますが、周りの協力を得ながら職務を遂行している姿があります。
業務のルーティンも早くから覚え、子どもへの対応も含めて問題ない。
常に前向きに一生懸命仕事に取り組んでいます。子どもたち一人ひとりと笑顔で関わり、(卒業生)先生自身が子ども達と一緒に過ごすことを楽しんでいる姿にも好感が持て、子どもたちもそんな先生だからこそ着実に関係性を築いています。 自らわからないことなどは先輩保育士に確認し、聞きながら学ぼうとする姿勢も見られ、謙虚に頑張って勤務してくれています。
素直に仕事を理解し、覚えることができる。どんどん吸収して言っており、落ち着いた素晴らしい人格である。
伝えられたことに対応でき、報連相もできています。コミュニケーションもとれています。ただ、最近になり予定が急に変更になると不安になり、涙してしまうことがありました。
体調を崩すことはあるが、元気に出勤してくれている。大変なこともあると思うが、先輩と協力をしながら二歳児クラスの担任として保育してくれている。
とても真面目で楽しみながらお仕事されています勤務態度と素晴らしいです。時間提出物どれもしっかりとされています。穏やかで笑顔で楽しい感じが伝わってきます。
先輩職員と積極的にコミュニケーションをとり、関係を築いている。書類とも問題なく書けている。
しっかりしていて仕事に意欲的である。また、素直に物事を受け止められる。
とても明るく、常に笑顔で子供たちに接していたり、いろいろなことを先輩職員から学ぼうという姿勢があり、今後は楽しみです。
勤務態度良好。保育について子どもと丁寧に関わっている。学び、向上心がある。
一年目にしてはとても良いと言えます。周りを見ながら仕事を進めることができる点は高評価に繋がっています。 保育の質に関しては、これから経験を積むことでさらに良くなることが期待できます。
OJT 担当の職員がつき、実務を通して丁寧に教えてもらえる環境が整っているので、あまり不安を持たずに勤務できているように感じます。 入職当初は、口腔衛生が苦手でしたが、できるようになりたいという気持ちも強く見学➡一緒に行く➡一部だけを行うと、段階を踏みながら経験を積むことで克服することができました。 責

任感もあり、利用者さんとの関わり、向き合い方も丁寧です。
コツコツタイプで何事にも真面目に取り組む姿勢があり、苦手な部分も改善しようと努力する姿が見られ、とても頑張っています。
良い。はっきりと伝えられた改善内容について、真摯に取り組む姿勢が見られる。（例記録の書き方）一方で指摘がされないとそのままになってしまう傾向が見られるので、自ら気づく力を引き出せていけたらと思う。
子どもの怪我や様子等よく気がつく。子どもたちのために一生懸命取り組んでいる。

・評価が「ふつう」

コミュニケーションをとるのが苦手なので園児や職員に伝わらないことも多いが、本人なりに成長しようと努力している。入社当時から半年くらいまでは休みがちでしたが、秋ぐらいからはしっかり出勤できています。
少しおっとりしていますが、一年目ということで頑張っている姿があります。子どもたちともよく関わり、接している姿も見られます。
明るい性格で、職員や利用者様とも楽しくコミュニケーションが取れていると感じます。体調管理の徹底と仕事とプライベートのメリハリをもう少しつけて頑張してほしいです。
4月から9月のびのびキッズけいわ（認可外）10月からすくすくキッズけいわ（認可）で二歳児副担任として勤務しています。言われたことは素直に応じて行動してくれていますが、自ら動こうとする姿はあまり見られません。今後に期待しているところです。
ビジネスマナーはできています。一年かけ仕事内容を学んでいますが、積極性が出てくることを来年度期待するところです。
毎日一生懸命に勤務してくれています。大変そうな時期もありましたが、どうにか乗り越え、今は前向きに頑張っています。
欠勤がなく元気にしている点は嬉しく思います。前向きなのか、話に口を出すところは少々困ります。
園児の前では、表情豊かに保育を行えるようになりました。保護者の個別対応には少しずつ経験を積んでいます。日々の保育を楽しんでいる様子です。
社会人学生の新卒だったこともあり、年下の先輩に対して言葉遣いが荒いところも見られましたが、役割に対しては一生懸命取り組んでいる姿が見られました。

・評価が「改善を要する」

仕事をする上でピアノをやればできるものに対して努力が見られない。保育者とのやりとりにおいて、自分中心の考えになりがちで、感情的になる傾向がある。仕事はやめないと言うが、努力しないことには始まらないので、園の職員がチームを組んで育てていくつもりである。
遅刻、保育中の居眠りといった仕事に対しての姿勢が欠如。子どもへの関わり方が丁寧でない。声かけは優しいが、子どもが思うように行動してくれないと、強制的に座らせたり、引っ張る仕草が見られる。意欲が感じられない。

評価理由の自由記述では、勤務態度が真面目であること、子どもや保護者、先輩職員とのコミュニケーション、積極的に学ぼうとする姿勢、挨拶などの基本的な行動などが挙げられていた。一方で、遅刻や勤務態度、自主性、子どもへの関わり方などについての指摘も見られた。これらの記述から、就職先では保育の知識や技能だけでなく、勤務態度やコミュニケーション、社会人としての基本的な行動なども含めて評価が行われていることがうかがえる。

なお、文章は回答者の原文のままで引用し、個人や施設が特定されないよう配慮し、名称を伏せている。

3. 本学教育において今後改善・充実すべき点

① 項目別回答数

2024 年度 第十三期生 38 名の就職先からの本学教育において今後改善・充実すべき点に対する回答は、次の通りであった。

	保育の基礎 理論の理解	対象理解・向 き合う姿勢	保育の内容・ 方法の理解	保育技能の 修得	保育環境を 整備する能 力	保護者に向 き合う姿勢・ 対応力	勤務規律・勤 務態度	一般常識	一般教養	その他
「とてもよい」 評価の就職先	1	9	3	4	4	3	5	5	3	13
「ふつう」評価 の就職先	0	1	1	1	1	2	1	4	2	5
「改善を要す る」評価の就職 先	1	2	1	1	1	1	2	1	0	2
回答のあった 就職先 (38 名)	2	13	5	6	6	6	8	10	5	20

本学教育において今後改善・充実すべき点として挙げられた項目のうち、回答数が多かったものは、「その他」(20 件)、「対象理解・向き合う姿勢」(13 件)、「一般常識」(10 件)、「勤務規律・勤務態度」(8 件) などであった。また、「保育技能の修得」「保育環境を整備する能力」「保護者に向き合う姿勢・対応力」についてもそれぞれ 6 件の回答が見られた。

評価別に見ると、「とてもよい」と評価された就職先からも、「対象理解・向き合う姿勢」「一般常識」「勤務規律・勤務態度」などに関する回答が見られた。また、「改善を要する」と評価された就職先では、「対象理解・向き合う姿勢」「保護者に向き合う姿勢・対応力」「保育の内容・方法の理解」「一般常識」などの項目に回答が見られた。また、保育内容や保育技能、書類の記載など、実務に関する内容についての指摘も挙げられていた。これらの記述から、勤務先では保育実践に関わる専門的な知識・技能に加えて、日常的なコミュニケーションや社会人としての基本的な態度・行動なども含めて評価が行われていることがうかがえる。

② その他の自由記述について、学生の勤務状態の評価別に整理した。

・評価が「とてもよい」

退職した(卒業生)さんの事で感じたものは、言葉づかい、挨拶、保育士はにこにこ子どもの側に居ればお給料をもらえる仕事ではない。一般常識と、仕事としての保育士の責任の重さについて、どの学生さんにも理解してもらえるようお願い致します。
特にありません。とても素敵な保育士を育ててくださり、ありがとうございました。
緊張しましたと言いつつ、電話対応や保護者対応にも積極的に取り組んでくださっております。私たちは逆に、現在の学生さんが学んでいる場でどんな経験をし、どんな学びを得てきているのか知ることができると嬉しいです。
(卒業生)さんに対してではなく、一般論ですが、仕事(子どもや周りの環境等)に向き合う真摯な姿勢が大切ではないでしょうか。実技的なものは日々実践する中で身に付いていきますが、多くを学びとる基本的な力(姿勢)を学んでほしいですね。
仕事なので辛いこともあるけど、楽しいことも多いと考えられる考え方ですかね。難しいですね。その子の性格だったりするので。
特にありません。これからも(卒業生)さんのような方に入職いただきたいです。
今後ともよろしくお願い致します。

経験を重ねることで学べる臨機応変や柔軟性を今後身につけ、永年勤務していただけたらいいと思いますので、そのためには職場の環境を整えて、（卒業生）先生の持つ保育感が発揮できるよう努めて参ります。
既に多くのことを学んで来られたと思いますが、さらに充実して行くと現場に出た時に行かせるのかなと思います。今後どうぞよろしくお願い致します。
（卒業生）さんのような学生を増やしていただきたいと思います。
質の高い自主性を重んじた寄り添う方。行くとはどういうものなのか、彼女はとても興味を持ち、実践しています。ほかの学生さんもぜひ学んでほしいです。
（卒業生）さんと一緒に働くことができ、嬉しく思います。素敵な保育士に成長してもらえよう、サポート、指導をして行きたいと思います。
現在は一才児を担当しているため、特に改善点はありませんが、幼稚園部門に異動になると、ピアノやほかの保育技術、保護者対応等が求められます。

・評価が「ふつう」

働き方が少しずつ変わってきた世の中ですが、人として基本的なところは身につけてほしいなと感じます。
保育環境を整備することを授業で体験していくといいのかなと思います。
一年目ですので、今はいろいろなことを知ってほしいのですが、今後求められることは多くなりますので、今まで同様素直に受け入れてくれるといいと思います。
最近の傾向か指示されたことは動けますが、自ら気づいて進んで行動できる学生が少なくなってきたように感じます。周りの様子に気づけていない人も多いように感じています。
社会人学生に対して社会の経験を積んでいるため、先輩であっても保育業務については教えてもらうとの姿勢が大切である。指導者側に対して、指導者が年下であっても敬う気持ちで取り組めるようにお願いしたいです。

・評価が「改善を要する」

学年主任、先輩保育者の話を素直に聞いて努力してほしいと考える。本人自身の問題であって学校の問題ではないと捉えている。
本人の資質ではあると思います。縁あって職員の一員になりましたので、クラス職員、副主任、主任の指導面談。とうとう成長していただけるよう園全体でフォローしているところです。一般常識に関しましては、だいぶ身についたように思います。

自由記述では、コミュニケーション能力、社会人としての一般常識、意欲や姿勢、言葉遣いなどに関する記述が見られた。また、保育内容や保育技能、書類の記載など、実務に関する内容についての指摘も挙げられていた。これらの回答から、勤務先では保育実践に関わる専門的な知識や技能に加えて、日常的なコミュニケーションや社会人としての基本的な態度・行動なども含めて評価が行われていることがうかがえる。

また、「とてもよい」と評価された就職先からも改善・充実すべき点に関する回答が寄せられていることから、卒業生の勤務状況が概ね良好である場合であっても、現場からは継続的な成長や学びに対する期待が寄せられていることがうかがえる。

なお、文章は回答者の原文のままで引用し、個人や施設が特定されないよう配慮し、名称を伏せている。

Ⅲ 卒業生の就職先での状況

1. 卒業生の就職内定先

実習・キャリアセンターが把握している情報、および本調査の結果から、本学卒業生の就職先での状況を整理する。2012 年度卒業生（第一期生）から、2024 年度卒業生（第十三期生）までの 13 年間の就職内定先の状況についてその推移を示す。

卒業生の就職内定先種別	①保育所	②幼稚園	③福祉施設	④認定こども園	⑤一般企業	⑥学童保育	⑦保育室	⑧家事手伝い等	⑨進学	⑩公務員	⑪その他不明	合 計 (名)
2012 年度第一期生	31	8	11	1	4	0	0	3	0	0	0	58
2013 年度第二期生	23	9	6	4	3	3	2	5	4	0	1	60
2014 年度第三期生	41	14	8	2	3	1	0	5	2	1	0	77
2015 年度第四期生	32	12	4	7	4	0	2	4	0	1	0	66
2016 年度第五期生	38	6	5	4	2	0	1	0	2	1	5	64
2017 年度第六期生	42	8	8	4	7	0	2	0	0	2	0	73
2018 年度第七期生	38	12	9	2	1	1	1	5	0	1	0	70
2019 年度第八期生	40	10	2	5	2	1	0	1	0	1	0	62
2020 年度第九期生	41	8	3	10	3	0	0	2	0	0	0	67
2021 年度第十期生	43	8	4	5	1	0	1	0	1	2	2	67
2022 年度第十一期生	29	11	6	8	9	2	1	0	1	4	3	74
2023 年度第十二期生	49	16	4	7	0	0	0	0	1	1	1	79
2024 年度第十三期生	33	4	8	10	1	0	1	0	0	4	0	61
合 計	447	122	70	59	39	8	10	25	11	14	12	817

いずれの年度においても、保育所への内定が最も多くなっている。

2024 年度第十三期生では、保育所 33 名、認定こども園 10 名、福祉施設 8 名、幼稚園 4 名であった。進学および公務員はそれぞれ 4 名であり、一般企業および保育室はそれぞれ 1 名であった。福祉施設のなかには児童相談所も含まれ、保育室に分類されたなかには病棟保育士も含まれていた。

これらの結果から、卒業生の就職先は保育所を中心としながら、認定こども園や福祉施設など多様な施設に広がっている状況が確認された。

2. 雇用形態等

卒業時の雇用形態について、本学実習・キャリアセンターで把握している 2012 年度第一期生から 2024 年度第十三期生の推移を示す。

卒業時の雇用形態	①正規雇用	②非正規雇用	③未就職	④進学	⑤自営	合計（名）
2012 年度第一期生	44	11	3	0	0	58
2013 年度第二期生	43	9	5	3	0	60
2014 年度第三期生	55	15	4	2	1	77
2015 年度第四期生	56	6	4	0	0	66
2016 年度第五期生	50	6	4	2	2	64
2017 年度第六期生	65	8	0	0	0	73
2018 年度第七期生	51	19	0	0	0	70
2019 年度第八期生	55	6	1	0	0	62
2020 年度第九期生	60	5	2	0	0	67
2021 年度第十期生	61	3	2	1	0	67
2022 年度第十一期生	59	11	3	1	0	74
2023 年度第十二期生	77	0	1	1	0	79
2024 年度第十三期生	56	5	0	0	0	61
合計	676	99	29	10	3	817

卒業時の雇用形態について、2012 年度第一期生から 2024 年度第十三期生までの推移を見ると、いずれの年度においても、正規雇用の割合が高い傾向が続いている。

2024 年度第十三期生は、正規雇用が 56 名（91.8%）、非正規雇用が 5 名（8.2%）、未就職は 0 名であった。これまでの年度と同様に、正規雇用での就職が中心となっている状況が確認された。

IV まとめと今後の課題

本調査は、2024 年度卒業生（第十三期生）の就職先を対象として、卒業後 1 年以内の卒業生の勤務状況や就職先からの評価を把握し、本学の教育活動や学生支援活動の改善・充実に資することを目的として実施した。調査は、2024 年度卒業生 61 名のうち、現在も就職先で勤務している 54 名（52 ヶ所）を対象として実施し、39 名について回答が得られた。回収率は 72.2%であった。前年度（2023 年度卒業生・第十二期生）調査では、卒業生 79 名のうち 57 名について回答が得られており、回収率は 72.2%であった。本年度の回収率は、前年度とほぼ同程度の水準であった。

勤務継続の状況については、有効回答 38 名のうち 37 名（97.3%）が「現在も勤務している」と回答しており、退職は 1 名（2.7%）であった。過去の推移を見ても勤務継続率は高い水準で推移しており、第十三期生についても同様の傾向が確認された。

勤務先からの評価については、「とてもよい」が 68.4%、「ふつう」が 26.3%、「改善を要する」が 5.3%であり、「とてもよい」と「ふつう」を合わせると 94.7%であった。これらの結果から、卒業生の勤務状況については概ね良好な評価が得られている状況が確認された。

評価理由の自由記述では、勤務態度の真面目さ、子どもや保護者、先輩職員とのコミュニケーション、積極的に学ぼうとする姿勢、挨拶などの基本的な行動などが評価されていた。一方で、遅刻や勤務態度、自主性、コミュニケーションなどに関する指摘も見られ、就職先では専門的な知識や技能に加え、社会人としての基本的な態度や行動が重視されていることが確認された。

また、本学教育において今後改善・充実にすべき点としては、「対象理解・向き合う姿勢」「一般常識」「服務規律・勤務態度」などの回答が多く見られたほか、「保育技能の修得」「保育環境を整備する能力」「保護者に向き合う姿

勢・対応力」などに関する回答も見られた。自由記述においても、コミュニケーション能力、社会人としての一般常識、意欲や姿勢、言葉遣い、保育内容や保育技能、書類の記載などに関する指摘が挙げられていた。

就職先の状況については、保育所への就職が引き続き最も多く、認定こども園や福祉施設などを含めた保育・福祉分野への就職が中心となっている。また、卒業時の雇用形態についても、正規雇用での就職が大半を占めており、本学卒業生の就職状況は安定した傾向が確認された。

以上の結果から、本学卒業生は就職先において概ね良好な評価を得ながら勤務している状況が確認された。一方で、勤務態度やコミュニケーション、社会人としての基本的な姿勢などに関する指摘も見られたことから、専門的な知識・技能の習得とともに、子どもや保護者への理解を基盤とした関わり方や、社会人としての基礎的な態度、コミュニケーション能力の育成についても引き続き検討していくことが求められる。

埼玉東萌短期大学
卒業生の現状調査(就職先調査)
(第十三期生調査) —2024 年度卒業生調査—

発行者 埼玉東萌短期大学
〒343-0857 埼玉県越谷市2丁目2番地1
Tel. 048-987-2345
Fax. 048-989-4550
URL. <https://www.saitamatoho.ac.jp>
発行年月日 2026 年 3 月 19 日

この調査報告書は、本学に無断で転載することを禁じます。